2019

道総研

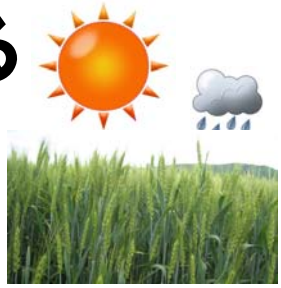
道総研　農業研究本部　中央農業試験場

農研機構　北海道農業研究センター

NARO

Central Agricultural Experiment Station & Hokkaido Agricultural Research Center

Webで見よう！気象情報から分かる秋まき小麦の生育予測

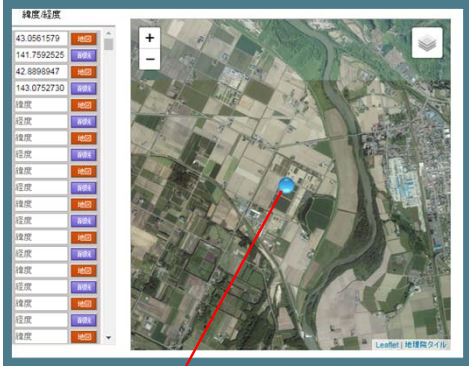


概　要 Abstract

秋まき小麦について、気象予報が反映された圃場ごとの生育ステージや穂水分がWeb上で見られます。また気象情報から、地域の到達可能な最大収量やその年次変動の気象要因が推定できます。

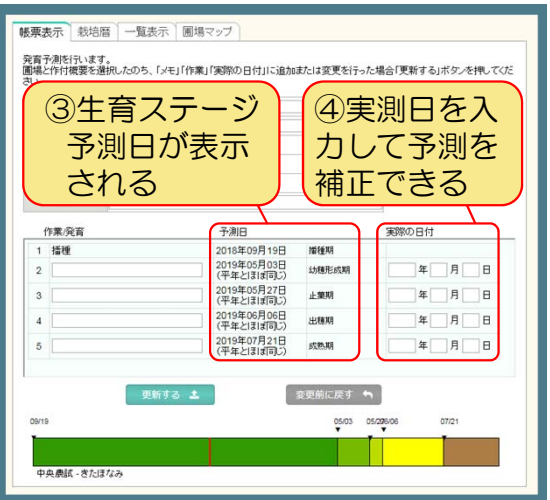
成　果 Results

Webで見よう！圃場ごとの生育ステージ予測



①地図から圃場を登録

②品種、播種日融雪日(任意)を入力



栽培管理支援システム

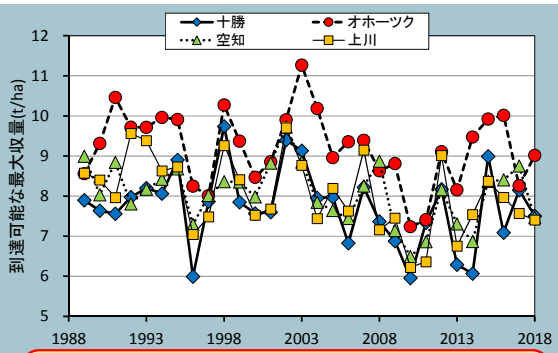
- Webで圃場の生育を見える化！
- 26日先までの天気予報も反映
- 圃場ごとに生育ステージを予測
- 毎日自動更新でお手軽

気象情報から分かること

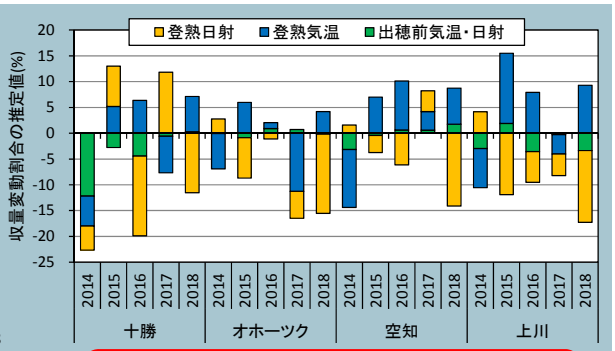
- 到達可能な最大収量(左)
- 収量年次変動の気象要因(右)

その他

- 収穫前の当年収量の予測



作物モデルWOFOST(ウォーフォスト)または登熟期間中の気温と日射量から地域の到達可能な最大収量が計算できる



WOFOSTを用いて、出穂前の気象、登熟期間中の気温、日射量が何%収量に効いたかを推定

普　及 Dissemination

1. 気象状況に応じた営農指導や栽培管理の意思決定支援情報として活用します。
2. 栽培管理支援システムは2021年3月まで公開予定であり、利用希望者は栽培管理支援システムHP (https://magis.jp/) から申請できます。
3. WOFOSTプログラムに関連するデータ解析ファイルは道総研農研本部から提供できます。

本研究の一部は、内閣府戦略的イノベーションプログラム（SIP）「次世代農林水産業創造技術」（管理法人：生研支援センター）によって実施されました。

連絡先 Contact

道総研　中央農業試験場
農業環境部 栽培環境グループ
0123-89-2001（代表）
central-agri@hro.or.jp

農研機構　北海道農業研究センター
大規模畑作研究領域　気象情報利用グループ
011-857-9212（北農研企画部産学連携室）
cryoforum@ml.affrc.go.jp